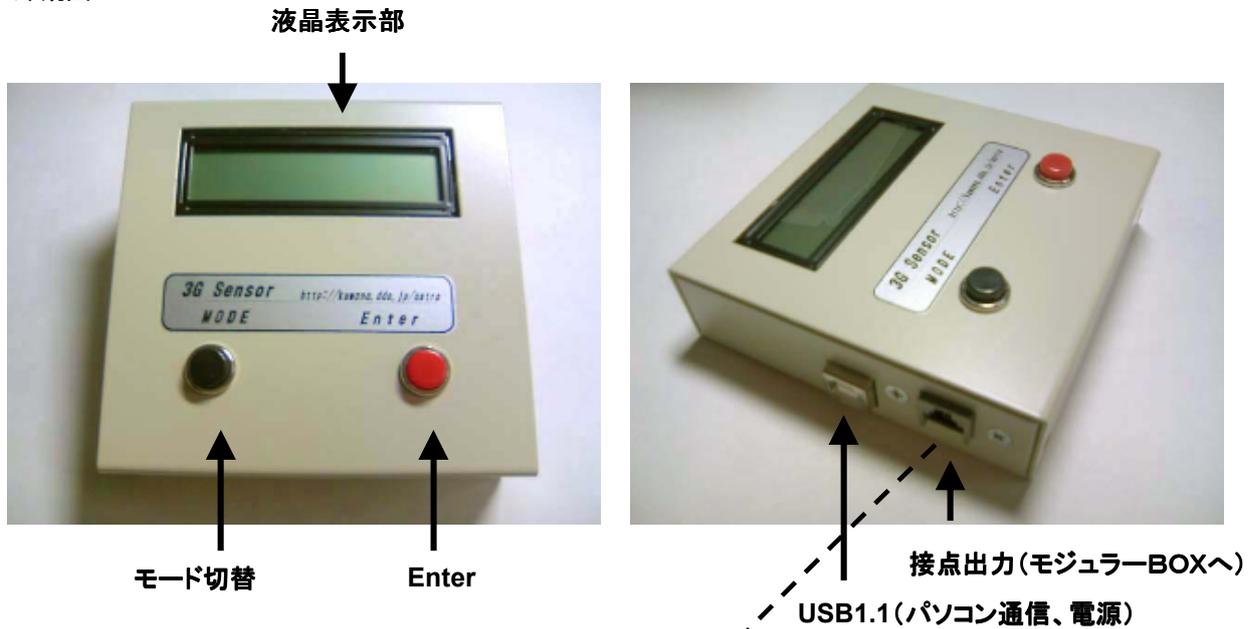


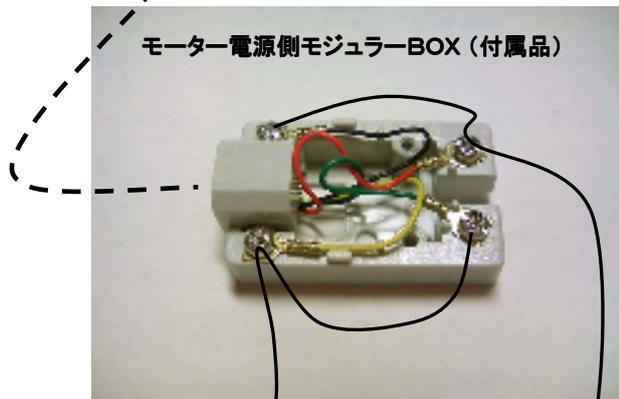
極越え鏡筒接触防止センサー

外観図



セット内容

- センサー本体。
- 1.5mモジュールケーブル
- モーター電源用モジュールBOX
- ドライバCD-ROM
- 簡易取扱説明書



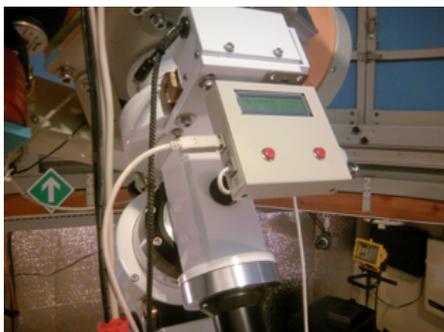
センサー本体に小型のリレーが入っています。
1Aまでのモーターに使えます。
より大きなモーターの制御が必要な場合は
外部リレーをご用意ください。

■ 赤道儀への取り付け方法

センサーはX軸、Y軸、Z軸の3方向の表示ができます。

但し監視できるのは1軸方向のみです。

極軸(赤経軸)にセンサーを取り付けます。



■ 取り付け例

写真のように極軸(赤経軸)に対しセンサーを垂直に取り付けた場合はY軸監視をします。

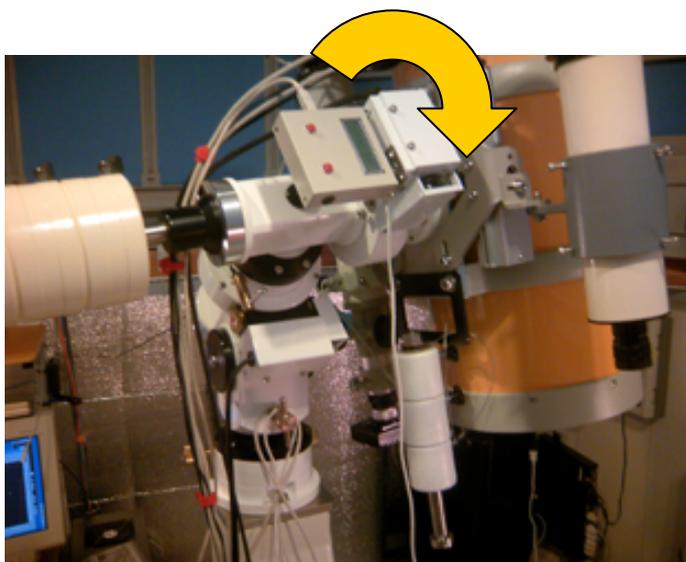
本体の設定をY軸に設定します。

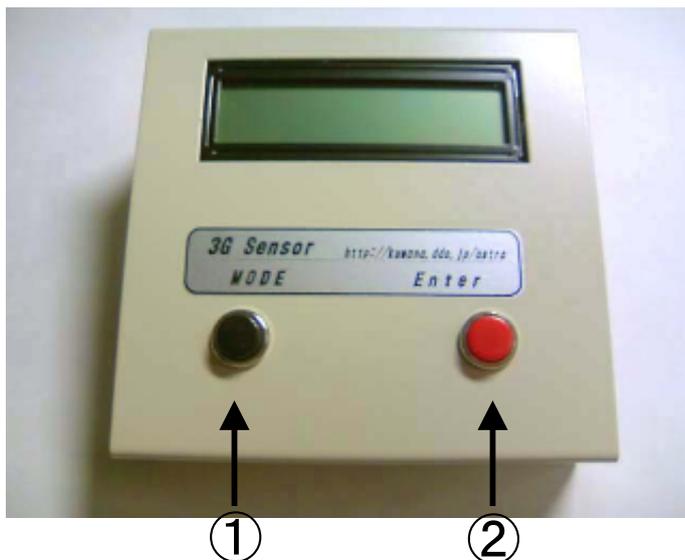
(水平の場合はX軸です)

■ 傾斜位置の設定

赤道儀を傾けて鏡筒等がピラーまたは三脚に接触する手前で、感知位置を設定をします。

写真はWEST位置での感知ポジションです。





3G sensor
EAST:80 WEST:176

起動時 感知位置表示

3G sensor
X scale

監視軸 表示

3G sensor
X:80 Y:176 Z:150

通常表示

3G sensor
- X Scale SET

X軸監視設定 表示

■設定:監視軸の設定

赤道儀への取り付け状態より監視軸を設定します。

X軸 - スイッチ①を押しながら電源ONする。

Y軸 - スイッチ②を押しながら電源ONする。

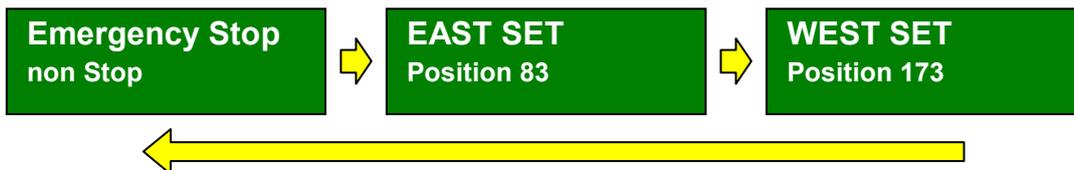
Y軸 - スイッチ①,スイッチ②を同時に押しながら電源ONする。

設定が終わりましたら電源を一度切ってください

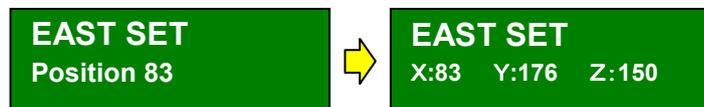
■感知位置の設定

赤道儀を感知させたい位置に回転させます。

モードボタン①を押して表示を切替します。



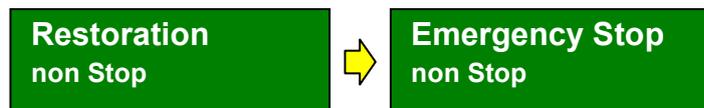
EAST SET (又はWEST SET)にしてEnterボタン②を選択します。



■緊急停止ボタン

赤道儀を緊急停止させたい場合

モードボタン①を押して表示を切替します。Enterボタン②を選択すると停止します。



赤道儀を復帰させたい場合

さらに Enterボタン②を選択すると復帰します。

遠隔操作コントロールソフト(本体に付属)



■ インストール

本体付属のCD-ROMをパソコンにSETして
SETUP.EXEを実行してインストールしてください。

■ プログラムの実行

「スタート」→「プログラムの実行」→「極越え監視」→「極越え監視」で実行します。

■ 通信ポートの設定

- ①の小さなボタンを選択し設定パネルを開きます。
- ②で通信ポートを設定します。(極超えセンサーのポート)



■ 傾斜メーター

メーターの最小値は80で最大値は180になっています。
現在のポジションをあらわします。傾斜のおおよその目安にしてください。

■ 緊急停止ボタン

モーターを停止させたい場合は③緊急停止ボタンを選択します。
停止中はパネルが赤色に点灯します。



■ 復帰ボタン

モーターを再開したい場合は④復帰ボタンを選択します。
復帰しますとパネルが青色に点灯します。



■ ソフトの終了

⑤×ボタンを選択します。

モーターフォーカス USBドライバー for WindowsXP,2000 Professional &Me,98 ドライバーのインストール方法

FTDI社のホームページからFT232RL用VCPドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

1. FTDI社のホームページのVCPドライバーのページをアクセスします。
<http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm>
2. 使用するOSに応じたFT232RL用VCPドライバーをダウンロードします。

ドライバーのインストール方法

ガイド基板を接続しますとプラグインプレイでドライバーを聞いてきますのでダウンロードし解凍したファイルを選択してください。

詳しいインストール方法は以下のとおりです。

1. FTDI社のホームページのインストールガイドのページをアクセスします。
2. 使用するOSに応じたインストールガイドをダウンロードします。
このインストールガイドに従って、ドライバーのインストールを行ってください。
下記のように、コントロールパネル→システム→デバイスマネージャで、USB Serial Port(COM*)が表示されているか確認してください

